

Muribushi

群星
【むりぶし】

9月★10^{2009年}月号

隔月発行

September



October



【特集】内閣府

「アジア青年の家2009」活動報告

01

地域の目 若者達の「純粹パワー」は沖縄の宝

株式会社メディアール

代表取締役 サファイア 玲子

特集

02

内閣府
「アジア青年の家 2009」活動報告

04

仕事の窓① 財務部
管内経済情勢報告

06

仕事の窓② 農林水産部
農林水産物・食品の輸出のさらなる促進に向けて

07

仕事の窓③ 農林水産部
沖縄県におけるカンキツグリーン病対策

仕事の窓

08

仕事の窓④ 農林水産部
平成21年度「食育月間」における食育推進の取組について

10

仕事の窓⑤ 農林水産部
「食農連携促進事業活用事例」沖縄県産果実を活かした新商品を開発！

11

仕事の窓⑥ 経済産業部
「2009年版 中小企業白書説明会」開催

12

仕事の窓⑦ 経済産業部
「平成20年度ものづくり白書」について

13

仕事の窓⑧ 運輸部
プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施

14

仕事の窓⑨ 運輸部
自賠責制度のPR月間について

局の動き

15

総務部 「下請法」は、公正な下請取引を守ります！
経済産業部 「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」を決定されました
財務部 読谷村功労表彰を受賞
開発建設部 平成20年度開発建設部所管優良業者等表彰式を開催
運輸部 平成21年「海の月間」について

18

なかゆくい ＊シリーズ③ ～「新エネ百選」に選ばれました!!～

20

内閣府だより 沖縄科学技術大学院大学学園法が成立

21

お知らせ

「ゆいレール」
いろいろ
再発見!

#2

「人に優しい」
ゆいレール
駅のヒ・ミ・ツ
(・・) (・・)

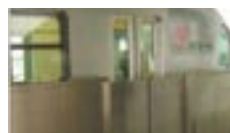
人に優しい 環境と調和する駅づくりを目指して、ゆいレールの駅には、お年寄りや身体の不自由な方のための点字誘導ブロックや多機能トイレ、エレベーター、AED（自動体外式除細動器）などが設置されています。また、すべての駅のプラットフォームには、ホームと車両の隙間と段差を解消する車椅子乗降装置「ラクーブ」や、転落事故防止のための可動式ホーム柵も設置されています。

しかし、平成16年2月、乗降時に旅客が列車とホームの隙間からホーム下に転落する事故が発生しました。その転落事故対策として、駅ホームが曲線となっている曲線駅のホームと列車の隙間を縮めるためにホーム端にゴム板を張りましたが、平成19年5月に2回目の転落事故が発生するなど、対策に苦慮していました。

そこで、平成20年5月に、これらの曲線駅5駅のホーム乗降口について、接触しても車両に影響のない韓国製の櫛状ゴム板を全国で初めて設置しました。これにより、隙間からの転落事故発生防止が図られ、乗客が安全に乗降できるようになりました。設置以降、転落事故は発生していませんが、乗降時には足下にくれぐれも気を付けてください。

このように、普段何気なく乗降しているゆいレールには、「人に優しい」アイデアが随所に活かされています。

最後にクイズを一つ。文中で紹介されている櫛状ゴム板が設置されている5つの「曲線駅」はどこでしょう？（正解は17ページ左下にあります。）



ホームドア（可動安全柵）



車椅子乗降装置（ラクーブ）



ホーム乗降口の櫛状ゴム

若者達の「純粹パワー」は沖縄の宝

株式会社メディアール代表取締役 ● サファイア玲子



沖

縄に来て早や五年。きっかけは今年二十歳になる息子の不登校。ひきこもりだったので、海に憧れ移り住む都会人とはスタートの訳が違った。もしも失敗したら、と車一台に布団・衣類等必要最小限を詰め込み、友人一家の住む与那原町に上陸。程なく迎えた初登校日、彼は六人もの級友を自宅に連れ帰った。それまで親子で社会から遮断され孤独と闘ってきただけに、級友に囲まれ嬉しそうに笑う息子の姿に私は、寝室で声を上げて泣いた。この日と一年後の中学卒業式での光景は、私の生涯で決して忘れることはないだろう。

息子の復学と共に専門学校で再開したブライダルやコミュニケーションマナー講師のお仕事。学園生活では、生徒達の純粹な心根に圧倒される毎日だった。携帯電話に大学進学、免許取得や車購入等々、親の援助は当然の役割だと思っていた私に生徒達は言う。「姉チャンが宮古から内地の大学行ってるから、俺は自衛隊入って給料貰いながら航空整備士になるんだ。五人

姉弟だしな。」と航空大学校進学を諦め家計を助けながら将来を見据える男子。「お父と二人暮らしだけど、私の作るお弁当毎日楽しみにしてくれてるよ。私がいなくてダメみたい。」とアルバイト代を食費の足しにする父子家庭の女子。屈託のない満面の笑みで日常の出来事を話してくれる彼らに、完全にノックアウトされてしまった私。

その後担当するラジオ番組に、告知のためゲスト出演されていた県産業振興公社職員より「第一回ベンチャービジネスサポート事業」公募への挑戦を勧められ、教え子達のような学ぶ意欲の高い若者に更なる可能性が提供できれば、と寺子屋的私塾を開くべく応募したところ、全国応募総数約一一五社の中から幸運にも十五件という県の支援事業に採択頂いた。開校したスクールには、期せずして四十五名の生徒が入学。お陰様で万国津梁館を始めとする優良企業への就職に恵まれた卒業生も誕生した。

そんなある日、大学の客員講師としてベンチャーで起業した想いを熱く語る機会があった。後日送付された講義レポートの中には「先生、僕達以上に沖縄を愛してくれてありがとう。僕も将来この島の役に立てる様になりたいとずっと心で願ってきたけど今後は先生みたくに口に出して想いを形にするよ。」また、客室乗務員への夢を諦めきれず、母子家庭ながら猛勉強の末外資系企業に採用され、国際線で乗務した経験を話すと「在学中に妊娠し今年

で大学やめるつもりでしたが、今日先生の話を聞いてやめるのをやめます。子育てが一段落したら、復学して必ず卒業します。先生ありがとう。」この子達の純粹パワー、半端じゃない。

実は「大学生」に憧れていた私は、三十歳を機に通信教育で短大に入学し、ハードな実習生活の末、卒業と同時に保母と幼稚園教諭の資格も取得。「どうせやるならとことんやれ」これは亡父の教えだった。ふり返ると競争率四十五倍だった宝塚受験、百倍近かったフジTVリポーター、そして応募者千名のうち一名採用だった客室乗務員の面接と、常に不可能に挑戦し続けてきた。何が私を突き動かすのかは解らない。しかし声を大にして私は言いたい。「人はいつからでもどんな形でも始められる」と。大阪人にはダメで元々、叶ったラッキー的発想がある。だからお節かな私は、やる前から諦めてしまう人をほっとけない！四年前、教え子が伊丹空港からJ系航空会社CA試験の最中電話してきた。「先生もうダメです。これから二次試験。全員ジャージ姿なんだけど全国から集まった受験生皆カッコイイ。私なんか絶対無理。」咄嗟に私は電話口で叫んだ。「アンタはミス那覇、とびつきの美人や。今すぐ鏡に全身映して自分の美貌に自信持つて挑みなさい。」彼女、怯んだマインドは立て直せなかったものの、その直後全日空に見事合格し今春から晴れて国際線客室乗務員に昇格した自慢の教え子だ。

可能性があるのに挑戦しないのはもったいないと考えてしまう私は、そんな性格と過去の実績から、広報・プレスリリース配信代行業を新たにスタートさせた。ビジネスの原石は県内に溢れているから、思いきり磨きをかけ、積極的なPRでメディアとの橋渡しとなり全国に向けて輝きを発信し、地域経済の活性化にも貢献したい。折しも、沖縄県より「グッジョブ運動・地域推進リーダー」の職を拝命した。自らの出演番組や講演活動を通して、社会へ巣立つてゆく若者が働く場に恵まれ経験を重ねる中で人生の目標や自信、生きがいをみつめてゆく、その一灯の役割を微力ながら果たしたい。

奇しくもこの原稿を執筆中、神戸から来沖した旧友に誘われるまま恩納の海に潜って驚かされた。一九八六年夏、ダイバー免許取得のため初めてこの島に訪れ毎日身近に感じていた海。色とりどりの魚の群れや珊瑚礁、きらめく水の美しい光景が当時と何ひとつ変わることもなく私の目の前に飛び込んできたのだ。多忙を極める日常の中でふと優しい気持ちになれた瞬間、海水と涙の塩が入り混じっていた。その昔、なにかや嫁になる覚悟をも抱かせた海の仲間と過ごした沖縄、青春時代の映像が走馬灯の様によみがえる。そして私は今、めぐりめぐってこの地で生かされている。これから先、未知なる挑戦に自らを鼓舞させながら、人生の折り返し地点を私なりに歩んでいこうと、心新たに決意する。

2009」活動報告

【期間：2009年8月5日～24日】

1. はじめに

日本やアジア諸国の若者が沖縄に一堂に会し、共同生活する中、優れた科学者や技術を目の当たりにする等の共通体験等を経ることにより、将来イノベーションを起こす人材を育成することを目的とした「アジア青年の家」(主催：内閣府)の活動が8月5日から24日の約3週間の日程で行われました。

本年度のプログラムは「水」をめぐる環境問題をテーマに、その現状を知り、問題解決に向けた意欲的な取組に触れ、同時に、科学技術の素晴らしさや科学技術を社会に効果的に応用させる方法を学び、将来、自らの力で世界の人々の役に立つことを行おうとするチャレンジ精神を育くむことを目的としております。

参加者は、国内については公募、海外については各国の関係機関からの推薦で決定した15歳から17歳の中高生で、沖縄県14名、沖縄県以外の日本28名、アジア諸国など(ASEAN各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)及び中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド)34名の総勢76名にのほりました。

2. プログラムについて

プログラムは、約3週間の日程を4つのセッションに分け、県内各地の施設や自然を舞台に実施されました。

また、プログラム期間中は、異なる言語を母国語とする若者同士の交流であることから、英語を基本言語として実施されました。

なお、日本人参加者については、開会式の前々日より、2日間に亘って、事前研修を行い、英語によるコミュニケーションの練習や水問題に関する基礎知識を学び、本番に備えました。



記念撮影

3. 主な活動

①開会式(8月5日)

沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)で開かれた開会式では、各国からの参加者が紹介され、約3週間の日程が幕を開けました。

主催者挨拶として、「プログラムを通じて、大いに語らい、刺激しあうことで、文化や国を越えた絆を深めていただくとともに、将来を見据え、自分が何をしたいのか、そのためには何をすればよいのか、考えるきっかけにしていきたい。」との林幹雄沖縄担当大臣の期待を込めたメッセージが原田正司政策統括官より読み上げられました。

引き続き、岸本蘭さん(県立那覇国際高等学校2年)が参加青年代表として、英語で力強く抱負を述べました。

最後に、立命館アジア太平洋大学学長のモンテ・カセム氏が基調講演を行い、水が地球にもたらす恵みと災害について、自らの研究やスマトラ沖大地震の大津波で母国スリランカが被災した状況を目の当たりにした経験などを踏まえ、お話をされました。

②第1セッション(世界の水問題について)(8月5日～8月9日)
県立糸満青年の家を拠点に、

枝廣淳子氏や江守正多氏による地球温暖化に関する講義、沖大幹氏による世界の水問題に関する講義や村瀬誠氏による雨水利用に関する講義などを通じて、主に資源としての「水」について、新しい知識を得るとともに、参加者同士でディスカッションを行いました。

また、首里城、平和祈念資料館の見学を通じて、沖縄の歴史についても学びました。



首里城視察

③第2セッション(海洋環境について)渡嘉敷の自然を題材に(8月9日～8月12日)

参加者は渡嘉敷島に渡り、海浜清掃活動を通じて漂着ゴミの実態を学ぶとともに、シュノーケリングや土屋誠氏の講義を通じて、サンゴ礁の美しさを実感し、また、その直面する問題について学習するなど、海洋環境について、多角的に考える機会

「アジア青年の家」

を得ました。
また、参加者の出身地域の抱える水問題を紹介しあう発表会を行い、国・地域によって異なる水事情について、お互いの意見を交換しました。



シュノーケリング

④ホームステイ（8月13日～8月15日）



湧出（ワジー）清掃活動

伊江島での民泊体験や農業・漁業等の体験を通じて、多様な文化・慣習を肌で感じ取りました。
また、伊江島の貴重な水源地である湧出（ワジー）の清掃活動も行いました。

⑤第3セッション（淡水生態系の保全と海水の淡水化について）（8月16日～8月18日）

宜野座村のJAおきなわ教育研修所に舞台を移し、馬場繁幸氏等の指導の下、金武町のマンガロープを題材に、その再生や保全について、参加者同士でディスカッションを行いました。

また、企業（東レ株式会社）の海水淡水化の取組紹介や北谷

浄水場・海水淡水化センターの見学を通じ、科学技術を活用した環境問題解決に向けた取組の一例を学び、科学技術の可能性についてディスカッションを行いました。



マングローブ見学

⑥第4セッション（まとめ）（8月19日～8月24日）

プログラムも終盤を迎え、沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST）研究事業所を訪問し、現在開学に向けた準備が進められている沖縄科学技術大学院大学の概要説明を伺うとともに、最新の科学技術研究の一端に触れ、参加青年の好奇心を大いに刺激する機会となりました。

また、アジア青年の家構想推進に係る有識者会議座長でもある黒川清氏のイノベーションに関する講義や国際機関で活躍されている池上清子氏や村田俊一氏の講義は、参加者が自らの将来を考えるきっかけにもなりました。

また、プログラムコーディネーターである沖縄大学のチャンドララール教授の指導の下、ファシリテーターやチューターの協力を得つつ、参加者同士のディスカッションを重ね、これまで学習してきた成果を「おき

なわ水環境宣言」にとりまとめる作業を進めました。

また、20日より、昨年度の参加青年の代表が一行に加わり、昨年度の経験やその経験がその後の学校生活に与えた影響などについて、本年度の参加者に伝え、交流を深めました。

⑦オープンセミナー（8月22日～8月23日）

まとめに向けた取組の一環として、「アジア青年の家2009」オープンセミナーに参加しました。本セミナーでは、半導体研究の権威として知られている西澤潤一氏や宇宙飛行士としても有名な日本科学未来館の毛利衛氏など、各界の第一人者の講義を聴講しました。

さらに、「水」をテーマにしたパネルディスカッションは、今回のテーマである「水」をめぐる環境問題について、総括する絶好の機会となりました。また、県内の大学等の多彩な展示も参加者の関心を引きました。

⑧閉会式（8月24日）

万国津梁館（名護市）で開かれた閉会式において、DVDを利用した活動報告と参加者による成果報告「おきなわ水環境宣言」が発表されました。



オープンセミナーの様子

その後、「アジア青年の家構想推進に係る有識者会議」メンバーの有馬朗人氏から、今回のプログラムの全日程を終えた参加者に対して、激励のメッセージが送られました。

4 おわりに

約3週間の日程で行われた「アジア青年の家2009」は、こうして幕を閉じました。

プログラム期間中、参加者は言葉の壁や体調管理などに苦しみましたが、それを克服し、異なった環境・文化の中で育った同年代の若者とコミュニケーションを行い、様々な考え方に触れたことは、参加者の将来にとって大きな財産となったことと思います。

最後になりましたが、「アジア青年の家2009」の実施にあたりまして、沖縄県や地元大学等からなる「アジア青年の家」沖縄推進協議会をはじめ、多くの関係機関・関係者の皆様にご尽力をいただきました。ここで紙面を借りて、御礼申し上げます。

※内閣府では、「アジア青年の家」のスケジュールや講師陣からのメッセージ、参加者による日々の活動日誌などを紹介したホームページを公開しています。
アドレスは <http://ayepe.go.jp>

管内経済情勢報告

管内経済は、公共事業は前年を上回り、個人消費が一部に持ち直しの兆しがみられるものの引き続き弱含んでおり、雇用情勢は依然として厳しく、観光が引き続き弱い動きとなるなど、厳しさが続いています。



- ・観光は入込客数の減少などから引き続き弱い動きが続いています。また、生産活動は弱含みで推移しています。
- ・公共事業は前年を上回り、個人消費は一部に持ち直しの兆しがみられるものの引き続き弱含んでおり、住宅建設は前年を下回っています。
- ・雇用情勢は依然として厳しい状況となっています。
- ・21年度の設備投資(含む電力)は前年度を上回る見通しとなっているものの、企業収益は減益見通し、21年4～6月期の企業の景況感「上昇」を上回っています。
- ・先行きに關しては、各種政策効果を受けた持ち直しの動きも期待されるが、主力の観光は、当面厳しい状況が続くものと懸念されます。

財務部

主要項目の動向 ① 個人消費

一部に持ち直しの兆しがみられるものの引き続き弱含んでいる

個人消費をみると、百貨店は、主力である衣料品の不振が続いていることなどから、前年を下回っています。主要スーパーは、衣料品が引き続き減少しているものの、飲食料品や家庭用品は新規出店の効果などから増加しています。コンビニエンスストアは、たばこの売上げ増などから、前年を上回っています。耐久消費財の動向をみると、新車販売は、普通乗用車、小型乗用

主要項目の動向 ② 観光

引き続き弱い動き

観光入込客数は、内外経済情勢の影響を受けた旅行需要の低迷に加え、他地域との競合激化や新型インフルエンザの影響、クルーズ船の減少などにより、前年を下回っています。こうしたなか、観光関連施設入場者数や主要ホテルの客室単価、客室稼働率は、引続き前年を下回っています。このように、観光は引き続き弱

主要項目の動向 ③ 雇用情勢

依然として厳しい状況

一般職業紹介状況を見ると、新規求人数が引き続き減少しているほか、新規求職者数も県外雇用からの離職の影響などから増加しており、有効求人倍率(季調値)は更に低下しています。また、県外からの受求人数は引き続き減少しています。このように、雇用情勢は依然として厳しい状況となっています。

その他の項目の動向

■住宅建設

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、このところ持家が低調な動きとなり、分譲住宅は前年を大きく下回っていることから、全体では前年を下回っています。

■設備投資

21年度の設備投資計画額を法人企業景気予測調査(21年4～6月期)でみると、除く電気・ガス・水道では前年度を28・6%下回るものの、電力が全体を押し上げ、全産業では前年度を16・4%上回る見通しとなっています。

■公共事業

公共事業の動向を公共工事前払金保証請負額(累計)でみると、前年を上回っています。

総括判断

H21年1～3月期

全体として厳しくなっている

H21年4～6月

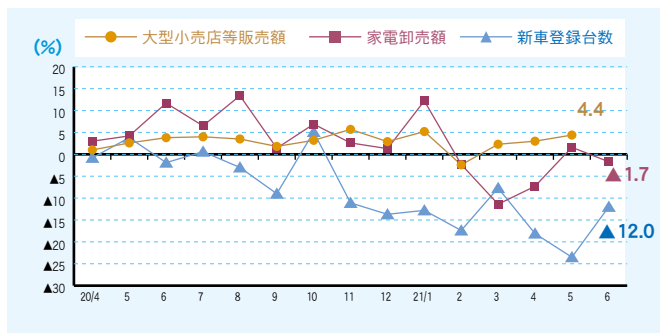
厳しさが続いている

前回との比較



管内經濟情勢報告(平成21年7月)

■大型小売店等販売額、家電卸売額、新車登録台数(前年比)

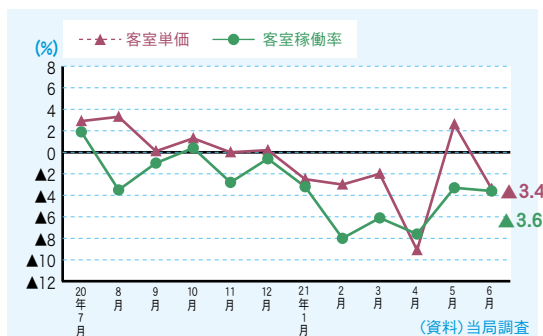


(資料)
大型小売店等販売額、
家電卸売額：当局調査
新車登録台数：
沖縄県自動車販売協会

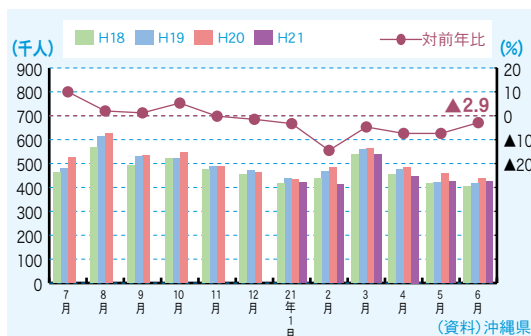
車及び軽自動車いずれも前年を下回っているものの、中古車販売は横ばいとなっています。また、このところ前年を下回っていた家電販売は、エコポイント制度効果などにより薄型テレビや白物家電に動きがみられます。

このように、個人消費は、一部に持ち直しの兆しがみられるものの引き続き弱含んでいます。

■主要ホテルの客室稼働率(前年差)、客室単価(前年比)

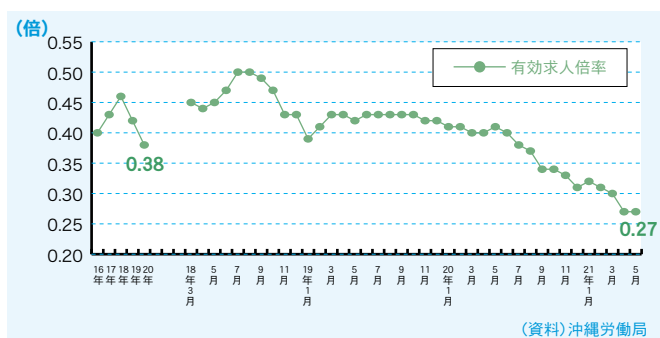


■観光入込客数(前年比)

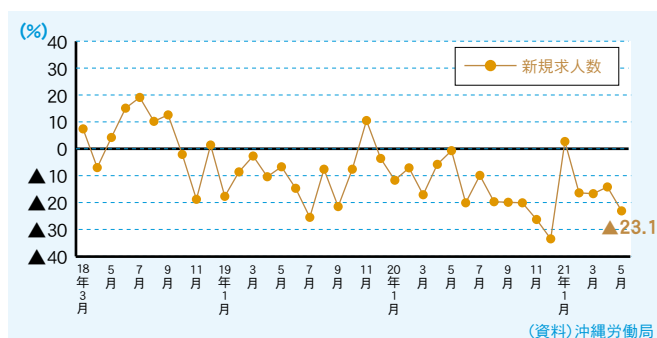


先行きについては、厳しい国内情勢の影響を受けた旅行需要の低迷などにより、当面厳しい状況が続くものと懸念されます。

■有効求人倍率



■新規求人数(前年比)



■企業の景況感 企業の景況判断B
SIを法人企業景気予測調査（21年
4～6月期）でみると、製造業で
は、「下降」とする企業が減少して
いることなどから、「上昇」超に転
じています。非製造業では、建設、
運輸・郵便などで「下降」とする企
業が増加していることなどから「下
降」超幅が拡大しています。
この結果、全産業では、「下降」
超幅が拡大しています。

■企業収益 経常利益を法人企業景気予測調査（21年4～6月期）で見ると、21年度上期は、全産業で7・2%の減益見込みとなっています。

21年度下期は、全産業で4・7%の減益見通しとなっています。

21年度通期は、全産業で6・0%の減益見通しとなっています。

■生産活動 製造業の生産活動は、窯業・土石では、公共工事向け需要から生コンの出荷量は増加しています。金属製品、鉄鋼では、県外向けが低調なことから鉄骨、アルミ建材や棒鋼の出荷量は減少しています。食料品では、酒類の一部で県外向け出荷が増加しているものの、食肉加工品では前年を下回っており、全体では低調となっています。

このように、生産活動は弱含みで推移しています。

農林水産部



農林水産物・食品の輸出の さらなる促進に向けて

我が国の高品質な農林水産物・食品の輸出を一層促進するため、全国の関係者が一体となった取組の推進を目的として、「農林水産物等輸出促進全国協議会」が設立されています。沖縄からも沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会（事務局：沖縄総合事務局農林水産部農政課）が会員として参画しています。

平成21年6月29日に開催された全国協議会総会の内容をご紹介しますとともに、今後の沖縄における輸出促進の取組についてお知らせします。

農林水産物等輸出促進全国協議会総会の主な内容

「総合的な輸出戦略」の改訂

全国協議会では、農林水産物等の輸出額を平成25年までに1兆円規模にするという目標の実現に向け、会員が一体となり、「我が国農林水産物・食品の総合的な輸出戦略」に沿って、取組を推進しています。総会では、昨今の厳しい輸出環境にかんがみ、同戦略の改訂が了承されました。

改訂のポイント

- 既存の重点個別品目と重点国・地域に加え、新たに集中的に実施する品目・地域を設定し、フロンティアを開拓
- 戦略的な広報を実施するとともに、現地商流ネットワークの構築により海外のさらなる需要開拓を図る

対象にアルコール飲料などを追加

また、この改訂の中で、これまで対象外だったアルコール飲料、たばこ及び真珠についても、輸出の目標金額に含められることになりました。特に日本食文化の重要な構成要素であるアルコール飲料については、他の食材と一体的なPRによる輸出の促進が期待されます。

世界が認める日本の食150

日本が誇る食材について、「豊かな食で世界の人々を幸せに」を標語に掲げ、海外への輸出の促進に取り組んでいきます。

その一環として、「世界が認める日本の食150」が策定されました。

●日本食10選：

日本食材の海外での認知度を更に高め、販路を拡大していくためのシンボルとして、代表的な10種類（ごはん、みそ汁、すし、さしみなど）を選定し、その素材や調味料、提供方法も含めて発信

●加工食品40選：

特に輸出取引が容易なものの中、海外の方々の味覚に合う商品をコンテストで選考し、参考事例として内外に紹介

- 栗国の塩・釜炊き（株）沖縄海塩研究所） など

●輸出取組事例100：

輸出に意欲的に取り組んでいる事例を紹介

- モズクを中国などへ（沖縄県漁業協同組合連合会等）
- 沖縄県野菜、果実を香港へ（株）沖縄県物産公社・南山元商店）
- 鶏卵をシンガポールへ（株）沖縄県物産公社・資源底養鶏場）
- 泡盛をアメリカ、香港等へ（瑞泉酒造（株）） など



日本食海外普及功労者表彰

海外に在住し、日本食、日本食材その他の日本産農林水産物の海外での紹介、普及などに貢献された方々に対し、農林水産大臣賞が授与されました。

今回、5名の方々が受賞されたところですが、その一人に沖縄県旧具志川市出身の当銘由盛さんが選ばれました。

当銘由盛さん

国・地域：アメリカ・カリフォルニア州
現職：日本食レストラン
「Sushi Ran（すしラン）」オーナー
北カリフォルニア日本食レストラン協会会長

功績：伝統的な日本食を熟知したシェフと西洋料理の知識・技術に長けたシェフを両腕とし、日本食の基本・伝統を大事にしつつ、米国人に愛される日本食レストランのスタイルを確立。また、北カリフォルニア日本食レストラン協会会長として、積極的に日本食文化の普及活動に努めている。



沖縄における今後の取組

輸出オリエンテーションの会の開催
（22年2月頃開催予定）

●輸出促進セミナー

輸出に関する有識者を講師に招き、体験談やノウハウ等の情報提供を行います。

●展示・商談会

輸出を希望する事業者に対し、国内外の商社・バイヤーと商談を行う場を提供します。

●輸出産品発掘会

バイヤー、在日外国人等による試食会を通じて、今後海外で売れる輸出産品を発掘する場を提供します。

【お問い合わせ】

沖縄総合事務局
農林水産部農政課



農林水産部

沖縄県におけるカンキツグリーニング病対策



カンキツグリーニング病の対策は？

カンキツグリーニング病のまん延拡大は凄まじく、平成14年に与論島、平成15年に喜界島で発生が確認されるなど奄美群島にも侵入しました。そのため、国は、平成19年に植物防疫法施行規則の改正により、与論島・徳之島をミカンなどの苗木の移動規制対象地域とするともに、喜界島で、早期根絶を目指して緊急防除を開始しました。

1.カンキツグリーニング病とは？

カンキツグリーニング病は、かんきつ樹の病気の一種で、主に東南アジアやアフリカなどで発生しており、発生した地域ではかんきつ園が廃園になるほど大きな被害をもたらします。その感染樹の多くは、数年以内に衰弱枯死します。本病は接ぎ木や取り木のほか、沖縄に生息するミカンキジラミという虫によって伝染します。

沖縄県内では、昭和63年に西表島、平成6年に沖縄本島の糸満市で発生が確認されたため、国では、沖縄県全域を規制対象地域として、平成9年に植物防疫法に基づく移動規制措置を開始しています。(苗木については検査に合格すれば持ち出せます。詳しくは那覇植物防疫事務所【098・868・1679】までお問い合わせ下さい)

2.カンキツグリーニング病の防除の方法は？

①病気にかかっている樹を見つけ次第伐採する、②ミカンキジラミの薬剤

防除により虫による伝染を防ぐ、③病

気にかかっている樹から接ぎ木や取り木を行い、人が病気を広げないという3点が重要です。万が一、カンキツグリーニング病かな？と思ったら、直ちに沖縄県や最寄りのJ・A等にご連絡ください。なお、ミカンキジラミはゲッキツを好むことから、かんきつ樹と同時に薬剤防除を実施すると効果的です。

沖縄県内においても、沖縄県や市町村やJ・A等の協力の下、カンキツグリーニング病の感染樹の調査や伐採等を実施し、防除を実施しています。カンキツグリーニング病の感染樹をそのままにしておくと、そこから病気が拡大する危険性が高くなるため、持ち主の方に早期伐採をお願いしています。

また、今年度から沖縄県では、本島北部の大宜味村において、カンキツグリーニング病に対する新しい事業を開始しています。限られた地域ではありますが、これまでの沖縄県の調査の結果、感染樹がなく、ミカンキジラミのい



カンキツグリーニング病に罹病したシークワーシャー



病徴の1つ(葉の黄化)



ミカンキジラミ

写真：那覇植物防疫事務所提供

ない地域があることが分かりました。新しい事業は、これらの地域とその周辺地域において、重点的に防除や調査を実施し、カンキツグリーニング病の侵入を防止するものです。したがって新しい事業を実施している地域に苗の持ち込み等をする場合、事前に検定をお願いしています。

詳しくは、
沖縄県病害虫防除技術センター
【098・886・3880】
大宜味村シークワーサー振興室
【0980・443・084】
までお問い合わせ下さい。

なおこの地域からもミカンなどの苗木を県外に持ち出すことはできません。

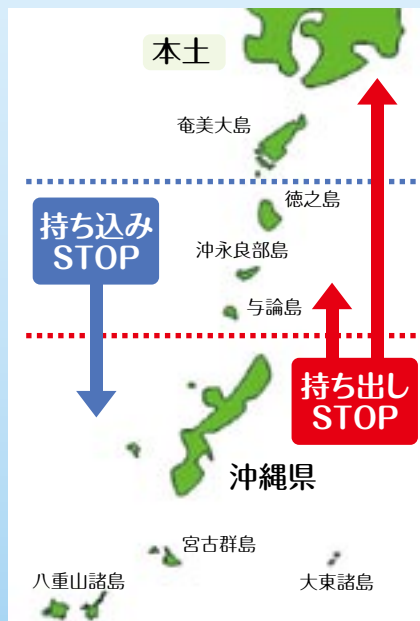
持ち出し&持ち込みができない苗木



ミカンの苗木
(シークワーシャー、
タンカン等)



ゲッキツの苗木



農林水産部



説明会には多くの方々に参加いただきました

「食育月間」をご存じでしょうか。食育月間とは、食育を幅広く普及させるため、食育推進運動を重点的に実施する期間です。毎年6月に実施され、期間中は全国各地で様々な取組が行われています。沖縄総合事務局でも関係機関と連携し、食育月間に様々な取組を行い、食育の普及・推進に努めました。

本説明会では、まず沖縄県が食育推進に関する県の施策やその取組状況について説明し、次に(社)沖縄県栄養士会が沖縄版「食事バランスガイド」の基本的な考え方やその活用方法について説明しました。最後に、県内において「食事バランスガイド」の普及

参加された方々からは、「バランスガイドの使い方が理解できた。」「宮古島の取組は地域に根ざした内容でいろいろな面で勉強になった。」「沖縄版食事バランスガイドは、すばらしいので、多くの人に知ってもらいたい。」などの感想が寄せられました。

また、会場に隣接して食育に関するパネルを展示するとともに、食に関する様々なパンフレット等の配布を行いました。



パネル展示、パンフレット等配布

沖縄版「食事バランスガイド」説明会を開催

食育月間の最初の取組として、沖縄県及び(社)沖縄県栄養士会と共催した説明会には、市町村の健康増進担当者、食生活改善関係者、食品関連事業者等から150名に及ぶ参加者がありました。

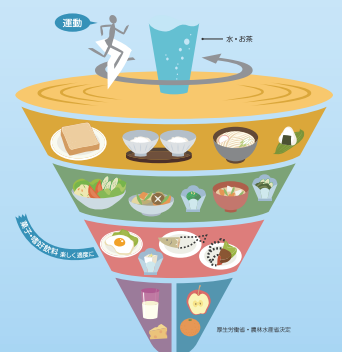
及・啓発に取り組んでいる活用事例を宮古島市福祉保健部から「宮古ケーブルテレビを利用した食事バランスガイドの活用方法の取組」について発表していただき、食品関連事業者からコープおきなわの取組について紹介していただきました。

食事バランスガイド関連のパンフレットの人気は高く、多くの参加者がパンフレットをお持ち帰りになりました。



皆さんは「食育月間」をご存じでしょうか。食育月間とは、食育を幅広く普及させるため、食育推進運動を重点的に実施する期間です。毎年6月に実施され、期間中は全国各地で様々な取組が行われています。沖縄総合事務局でも関係機関と連携し、食育月間に様々な取組を行い、食育の普及・推進に努めました。

平成21年度「食育月間」における食育推進の取組について



いちやりば食育ネット情報交換会を開催

去る6月30日に、那覇第2地方合同庁舎において「いちやりば食育ネット情報交換会」を開催しました。「いちやりば食育ネット」は、主にホームページ上で食育に関する情報の受発信を行うことを目的に設置されたものですが、今回、会員が一堂に会し、それぞれの食育に関する取組状況について情報交換を行うことにより、県内における食育推進活動をより一層の促進を図ることを目的に開催しました。



意見交換会風景

情報交換会においては、「地域に根ざした食育コンクルの支援」、「食料自給率や食品の有効利用の観点から注目されている、食品残渣を活用した取組」、「保育園でゴーヤージュースを作った取組」、「小学生と家族を対象とした食育教材プログラムの取組」、「学校給食を生きた教材として活用していく取組」、「食育シンポジウムや食育パネル展の開催」、「地産地消の推進」、「農山漁村ふれあい体験」、「学校に食育菜園を増やしていく取組」、「地元食材を使った調理実習」等出席した会員から取組状況について説明がありました。

事務局からは、各会員のホームページをお互いにリンクさせることや会員相互がメールを有効に活用し情報交換を行うこと等、「いちやりば食育



沖縄総合事務局1階 行政情報プラザ

ネット」をより効果的に活用するための提案を行い、全会一致で了承されました。

最後に、さらに連携を深め県内における食育の推進に努めていくことを確認し、情報交換会を終了しました。

食育パネル展の開催

食育月間期間中において、沖縄総合事務局1階に設置されている「消費者の部屋」や行政情報プラザのほか、沖縄県が開催した食育月間パネル展（県庁県民ホール）に「移動消費者の部屋」を設置し、食育や米の消費拡大に関する各種パネルを展示するとともに、食に関する様々なパンフレット等を配布し、食育のさらなる普及に努めました。



県庁県民ホール

本年度、沖縄県内において実施される食育関係補助事業（農林水産省関係）の概要

◎食育先進地モデル実証事業

沖縄県生活協同組合連合会が事業実施主体となって、沖縄県の機関及び広域団体並びに市町村自治体、民間業者及び新聞社等と連携し、県内において「食事バランスガイド」を活用した「日本型食生活」を推進する実証事業を行います。

◎教育ファーム推進事業

社団法人農山漁村文化協会が事業実施主体となって実施する「教育ファーム推進事業」に「伊江村立西小学校教育ファーム推進協議会」が協力団体として採択され、今後の教育ファームの拡大・啓発に役立てるモデル実証を行います。

最後に...

沖縄総合事務局では、沖縄県をはじめ関係機関と連携して日頃の食生活を振り返ってもらうため「食事バランスガイド実践週間」を実施しました。これは、参加者に「週間の食事内容を記入してもらい、「食事バランスガイド」に照らし合わせながら、バランス良く食事ができているかを確認していただく取組です。実践結果につきましてはホームページ等を通じてご紹介する予定です。

農林水産部

沖縄ならではの「新商品開発」

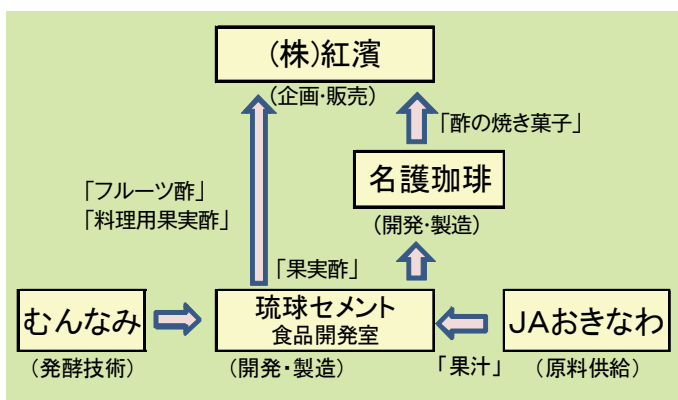
沖縄は亜熱帯海洋性気候に属し、本土にはない多様な農林水産物が生産されていることから、これらを活かした新たな商品開発・販売促進は観光産業との連携等により地域経済の発展を図る上でも重要となっております。

しかしながら、新商品開発には原材料の調達や製造技術及び施設、販売先の確保、資金調達等で多くの課題やリスクがあります。

農林水産省では食品製造業者と農林水産業者の連携による国産農林水産物を活用した新商品の開発等について、「食料産業クラスター協議会」を通じて事業支援を行っており、沖縄でも同事業を活用した取組みが平成19年度から行われています。

相互の技術・資源を結集

同協議会の取組として、平成20年



さっぱりした味の「飲むフルーツ酢」(左)と「料理用果実酢」

度は、沖縄県産のシークワーサー、タンカン、パイナップル果汁の果実酢を活用した「飲むフルーツ酢」、「料理用果実酢」、「果実酢の風味と香味を活かした焼き菓子」が開発されました。

新商品の開発にあたり、「豆腐よう」など沖縄伝統食品の販売を手がける(株)紅濱を中核企業として、JAおきなわが原料を供給するなど、それぞれの技術や資源を結集しました。

食農連携促進事業について

農林水産省では、このような農業や食品産業などの異業種が連携して新商品の開発等を行う集団を「食料産業クラスター」として、その取組に対する支援を「食料産業クラスター展開事業」により実施してきました。

こうした中、地域経済の活性化を図るための「農商工連携促進法」が20年度に施行されたことから、今年度より補助率等を拡充した「食農連携促進事業」として事業名も変更し、引き続き、新商品の開発や販路拡大への支援を実施しております。



果実酢の風味と香味を活かした焼き菓子



新商品発表会で果実酢を活用した新商品をPR
(7月14日、沖縄総合事務局にて)

「食農連携促進事業活用事例」 沖縄県産果実を活かした 新商品を開発！



農林水産省では、地域の食品産業や農林水産業等の連携促進により、国産農林水産物を活用した新商品開発や販路拡大のための取組を支援しています。



経済産業部

「2009年版中小企業白書」の概要

今年度の「中小企業白書」は、副題を「イノベーションと人材で活路を開く」と題し「中小企業による市場の創造と開拓」と「中小企業の雇用動向と人材の確保育成」という2つのテーマを採り上げて分析を行っています。

第一章では、世界経済減速の影響により、中小企業の業況が一段と悪化し、かつてない厳しい状況となった平成二十年度の動向を分析。こうした中、政府は、三〇兆円規模の資金繰り対策、下請取引の適正化等、中小企業対策の積極的な実施に取り組んでおり、今後とも、資金繰り対策等の積極的な支援が必要としています。

第二章では、厳しい経済情勢の下、中小企業が売上の維持・拡大を図っていくため、その強みである創造性や機動力を二層活かし、直面する苦



境を乗り越えていくための視座として、変化する市場のニーズを把握し、それに対応する製品・サービスの開発・供給、販路の開拓などイノベーションの実現に取り組んでいくための課題を分析しています。

第三章では、雇用情勢が厳しさを

増す中、中小企業にとって重要なイノベーションを支える経営資源である人材を確保し育成していくためには、足下の雇用の維持に加え、ミスマッチを踏まえた人材の橋渡しとその支援が重要とし、また、経営者と従業員のコミュニケーションを高め、従業員の意欲や能力の向上に取り組み、経営者と従業員が二丸となって厳



しい経営環境を乗り越えていくことが重要であることなどが提起されています。

沖縄県におきましても、世界的な金融危機の影響などから中小企業をとりまく状況は、厳しい状況にあります。沖縄総合事務局におきましては、今後とも資金繰り支援、イノベーションの創出支援等に取り組んでまいります。県内中小企業の皆様におかれましては、中小企業を取り巻く現状と今後の展望を詳細に分析した「2009年版 中小企業白書」を是非ご活用ください。

中小企業基本法第十二条

政府は、毎年、国会に、中小企業の動向及び政府が中小企業に関して講じた施策に関する報告を提出しなければならない。



経済産業省中小企業庁は、中小企業基本法第十一条の規定に基づき、「平成二十年度中小企業の動向」及び「平成二十一年度中小企業施策」（いわゆる中小企業白書）をとりまとめ、平成二十一年四月二十四日閣議決定し、公表いたしました。その周知を図るため、平成二十一年六月二十九日に中小企業庁事業環境部企画課調査室から寺岡浩平調査員を講師に招き、「2009年版 中小企業白書説明会」を那覇市内にて当局と財団法人経済産業調査会の共催で開催いたしました。

「2009年版 中小企業白書説明会」開催

経済産業部

平成21年7月10日(金)、県内企業、関係行政機関、経済団体等に対し、ものづくり基盤技術について広く周知を図るとともに、維持・発展させることを目的に、「平成20年度ものづくり白書」の説明会を開催しました。併催事業として、沖縄総合事務局行政情報プラザにおいて、OKINAWA型産業振興プロジェクト加工交易部会による「ものづくり展示会」を開催しました。

今般、平成21年5月19日に国会報告された「平成20年度ものづくり白書」では、我が国ものづくりが直面する課題と展望、ものづくり基盤強化のための人材の育成、ものづくりの基盤を支える研究開発・学習の振興等について分析を行っています。

現在、我が国ものづくり産業は、非常に厳しい状況下におかれています。米国の金融危機に端を発した世界同時不況は深刻度を増し、我が国経済

にも大きな影響を与えています。我が国ものづくり産業は、急速な生産調整を余儀なくされ、これに伴って雇用情勢は厳しさを増しています。かつて我が国は、二度にわたるオイルショックを契機として、徹底した省エネ省資源対策に取り組み、産業部門において世界トップレベルの効率化を達成しました。今回の危機においても、我が国経済におけるものづくり産業の重要性を再認識するとともに、今回の危機を変革へのチャンスととらえ、人材を始めとする経営資源の磨き直しや次世代有望分野への投資等を進めていくことが必要です。

また、我が国において、ものづくりの基盤技術を引き続き維持・発展させていくためには、ものづくりに携わる人が誇りを持って仕事に取り組みることができ、次代を担う若者や子供たちが将来の仕事としてのものづくりに関心を持てるような社会の実現を目

指し、その積極的な振興を図っていくことが必要です。

各章の主な内容は次のとおりです。

【第一章 世界同時不況下における我が国製造業の状況】

我が国ものづくり産業を取り巻く現下の厳しい経済環境とそれへの対応状況について、過去の景気後退期との比較も交えつつ分析するとともに、ものづくり労働者の雇用・労働の現状と厳しい雇用情勢に対応した政府の対策について取り上げています。

【第二章 我が国ものづくり産業が直面する課題と展望】

「資源環境制約への対応」、「ものづくりの底上げ」、「国際的生産体制・商品戦略の再構築」及び「次世代有望産業への取組」という我が国ものづくり産業が直面する課題について分析を行い、我が国ものづくり産業が次なる成長を遂げるために必要な取組について記述しています。

【第三章 ものづくり中核人材の育成による製造基盤の強化】

ものづくり基盤強化の観点から、ものづくり現場における中核人材の育成・確保や技能継承等人材育成の現状及び課題について分析するとともに、それらを踏まえた能力開発施策の方向性について記述しています。

【第四章 ものづくりの基盤を支える研究開発・学習の振興】

地域の産業の活性化等へ貢献する地域科学技術振興やものづくりに関する基盤技術の研究開発の推進について記述しています。また、小学校から大学までの各段階で、子どもの発達段階に応じたキャリア教育や科学技術・理数教育を推進するなど、学校教育などを通じたものづくり人材の育成推進について言及しています。

※ものづくり白書の本文は、経済産業省の以下のHPIに掲載されています。
<http://www.meti.go.jp/report/data/g90519aj.html>



ものづくり白書は、ものづくり基盤技術振興基本法(平成十一年法律第二号)第八条の規定に基づき、経済産業省・厚生労働省・文部科学省が連携して作成する、ものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策に関する年次報告です。

「平成20年度ものづくり白書」について



ものづくり展示会:サトウキビ搾り機実演中



ものづくり展示会場

運輸部



船長等への周知啓発

プレジャーボートの海難事故発生件数は、年間900件前後で依然として海難全体の3割を超える状況が続き、死者行方不明者を伴う海難についても全体の約3割をプレジャーボート関連が占めている状況です。また、近年、船舶安全法に基づく船舶検査を適切に受検しない小型船舶が毎年3〜4万隻発生していることが明らかになっています。

このような小型船舶を放置すると、船体、機関の整備不良の可能性も高まり海上の人命の安全に重大な支障を及ぼすことが懸念されます。

こうした状況を踏まえ、運輸部としましては、海上保安庁等関係機関と連携を密にし、マリンスレジャー活動が活発となるゴールデンウィークから夏期休暇期間中にかけて、プレジャーボート等小型船舶に対して、船舶検査の受検、小型船舶操縦士免許に関する安全キャンペーンを実施しています。また、一人乗り小型漁船において船外転落事故が多発していることから、平成20年4月1日から施行された小型漁船に対する救命胴衣(ライフジャケット)着用義務範囲の拡大等についても併せて周知啓発活動を実施しています。

また、従来から実施しております

小型船舶操縦士の遵守事項(酒酔い等操縦禁止・危険操縦の禁止・免許者の自己操縦・救命胴衣(ライフジャケット)の着用等)についての周知啓発を伴うパトロール活動の際にも、併せてこれらの事項の確認を行い、ソフト、ハードの両面から小型船舶の安全キャンペーンを実施することにより安全確保を推進しています。

ライフジャケットの着用を忘れずに

ライフジャケット着用



ライフジャケット未着用



海中転落者のライフジャケット着用・未着用別の生存率(海上保安庁資料より作成)

※乗船・プレジャーボート等の小型船舶におけるH16〜H20の平均値

● ライフジャケット着用の場合は生存率が約2.5倍

ライフジャケットを着用して海中転落した場合は、ライフジャケット未着用の場合に比べて生存率が約2.5倍も高く、逆に未着用の場合は死亡率が約2.5倍も高くなる結果となっています。

万一の海中転落時に助かる確率が、ライフジャケットを着用していることで非常に高くなることが分かります。



上のイラストの乗船者に対しては義務が課せられています。不意の事態に備え、ライフジャケットの着用を忘れぬようにしましょう。



プレジャーボート等小型船舶を安全に利用するために

プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施



運輸部

現在、交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、平成20年の事故発生件数は約77万件、死傷者数は約95万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっております。

自賠償保険・共済は、クルマやバイク（原動機付自転車を含む）1台ごとに加入が義務付けられており、交通事故が発生した際の加害者の賠償責任を担保し、被害者への基本的な対人賠償を確保するものです。

しかしながら、車検制度のない
原動機付自転車や軽二輪自動車の
みならず、車検対象車両による無
保険・無共済事故も依然として発
生しており、被害者にとっても加
害者にとっても悲惨な結果をもた
らすことになります。

そこで、国土交通省及び運輸部

では、平成21年9月1日から9月30日までの一ヶ月間を「自賠責制度PR月間」と定め、以下の広報活動を行い、自賠責保険・共済への加入促進、無保険・無共済車による運行の危険性や違法性の周知、自賠責制度の基本的な仕組み等の認識度の向上を図ることとしています。

①ポスター・リーフレットによる 広報の実施

地方公共団体、公共施設等へのポスターの掲示依頼及び地方公共団体、自動車関係団体等に対しリーフレットを配布し、自賠償保険・共済への加入促進の協力依頼を行う。

②監視活動の推進

大型商業施設、団地、駅前駐輪場等で通年行っている街頭監視活

動を積極的に実施し、自賠責保険・共済標準章のない原付や軽二輪車には通知書を付け、加入状況を確認させる等の注意喚起を行う。

③ 関係業界等と連携した街頭啓発活動の実施

(社)日本損害保険代理業協会と共に
同で街頭における自賠責制度PR
を実施する。

自賠責制度の詳しい内容は
<http://www.jibai.jp>
でご覧になれます。

<http://www.jibai.jp>

でご覧になれます。

今、100人に1人が 交通事故にあっている まさかのために 必ず加入、忘れず更新、自賠償





自賠償保険(共済)なしでの運行は法令違反です!

チェックして下さい!自賠償の有効期限



自動車保険(任意)の更新
自動車損害賠償責任保険(任意)の更新



自動車損害賠償責任保険(任意)の更新
自動車損害賠償責任保険(任意)の更新

★自賠償って?

「自賠償」は、交通事故の被害者を救済するために、ドライバーが加入者となって1人1台の車に加入するものに限ります。
 もともと「自賠償」に加入しない事業者がほとんどで、自賠の保険料も必要なく、全国どこに加入しなくてもいいのです!

★自賠償は強制でも、みんな加入!

各県警関係会社・共済関係会社は、クルマをバイクの運転者へ強制加入で加入させています!
 2022年12月1日から、一部のコンビニエンスストアでも、簡単に手続きが完了しています!

詳しくは <http://www.jibai.jp> (携帯からも見られます)

 **国土交通省**

日本損害保険協会 一般社団法人 外国損害保険協会

 **自賠共済**

独立行政法人 自動車事故対策機構

 **JA共済**

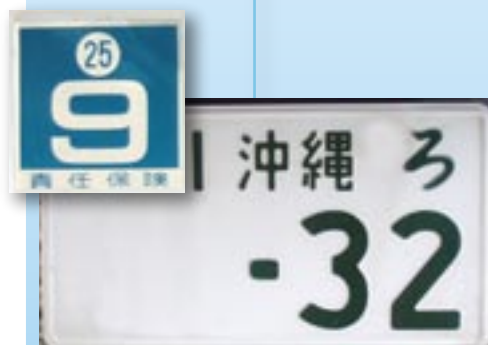
金自共 交協連

自賠共済 自賠償共済



自賠責保険（共済）なしでの運行は法令違反です!!

自賠責制度PR月間について



総務部/経済産業部

「下請法」は、公正な下請取引を守ります！ ～下請取引適正化特別推進講習会を開催～

Somubu

Keizaisangyo

親事業者（発注者）から下請事業者（受注者）へと発注されているさまざまな委託業務。このような下請取引では、仕事を委託する側の親事業者は、下請事業者よりも優位な立場にあると考えられます。このため、親事業者の一時的な都合によって、下請代金の支払いが遅れてしまったり、代金を不当に引き下げられたり、下請事業者が不利な扱いを受けている場合が少なくありません。



そこで、下請取引の公正化を図り、下請事業者の利益を保護するため、独占禁止法の特別法として制定されたのが「下請法（正式名称：下請代金支払遅延等防止法）」です。製造業からサービス業まで、幅広い分野において適用対象となる取引を明確に示すとともに、親事業者の禁止行為なども具体的に定めています。もし、違反が認められた場合には、簡易な手続で迅速に改善を求め、下請事業者を守ることができる仕組みになっています。

沖縄総合事務局では、去る6月19日に那覇第2地方合同庁舎1号館大会議室において、下請取引の適正化を一層推進するため、親事業者の下請取引担当者等を対象に、総務部公正取引室と経済産業部中小企業課による下請取引適正化特別推進講習会を開催し、下請法及び下請中小企

業振興法等の趣旨・内容の説明や、下請かけこみ寺事業、ビジネス・マッチング・ステーションの紹介を行いました。

なお当局では、下請法に関するご相談やご質問を受け付けています。また、下請かけこみ寺（県内では（財）沖縄県産業振興公社内に設置）においても相談員を設置し、下請取引などの企業間取引に関する相談に応じています。

○相談窓口

内閣府沖縄総合事務局

総務部公正取引室（TEL098-866-0049）

経済産業部中小企業課（TEL098-866-1755）

（財）沖縄県産業振興公社

下請かけこみ寺（TEL098-859-6237）

経済産業部

「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が決定されました ～平成21年度官公需確保対策地方推進協議会を開催～

Keizaisangyo

政府では、中小企業者の受注機会の増大を図るため、去る6月12日に「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」を閣議決定しました。

現下の厳しい経済情勢の中、経済収縮の悪影響を受けやすい中小企業者の受注機会を確保することは重要であることから、去る4月10日に決定された「経済危機対策」において官公需対策が盛り込まれ、6月2日に開催された「緊急雇用・経済対策実施本部会合」においても内閣総理大臣から「地域の雇用確保や地域経済の発展のためには、地元企業や中小企業の受注機会の確保の視点が重要であり、各大臣においては、予算執行に当たって、地域の中小企業の活用について、各発注機関に周知徹底を図り、しっかりと取り組むこと」との指示が出されました。

こうした動きを踏まえ、平成21年度の契



約の方針においては、本年度における国の機関や独立行政法人等の中小企業者向け契約目標額を、昨年度契約実績額から1兆円以上増加の約5兆2千億円としており、この目標達成に向けて、地域の中小企業者の適切な評価や「官公需情報ポータルサイト」の構築などの新たな措置が盛り込まれております。

また、経済産業大臣より都道府県知事に對し、国に準じた施策及び市町村に対する周知等を要請するとともに、当局においても7月17日に国等の地方支分部局及び地方公共団体の契約担当者等を対象として、本方針の周知等を目的とした官公需確保対策地方推進協議会を開催しました。

財務部

読谷村功労表彰を受賞

Zaimubu



受賞者記念撮影

8月5日に財務部が読谷村功労表彰（産業・経済部門）を受賞し、金子秀喜財務部長に表彰状が授与されました。式典には、財務省理財局山岸晃国有財産審理室長も出席しました。

受賞理由は、歴代財務部職員が関係機関との連携を密にし、読谷補助飛行場の跡地利用実施計画の策定、国有財産沖縄地方審議会の答申に基づく国有地と村有地の等価交換などで尽力した結果について、

評価されたものです。

米軍より返還された国有地が、現在では村有地となり、那覇新都心地区に匹敵する広大な土地で、役場庁舎やスポーツ施設、農業施設、村道中央残波線などを中心に、豊かな田園都市づくりが始まっています。

式典では、財務部を含む41の個人・団体が表彰され、地方自治、社会貢献、福祉、教育・文化、伝統芸能、産業・経済、一般公益の各分野で表彰が行われました。

表彰状授与に際しては、以下同文形式ではなく、地元読谷産の手漉芭蕉紙に読谷山花織をデザインしたオリジナルの表彰状に書かれた、受賞者それぞれで異なる表彰文を、安田慶造村長が丁寧に読み上げ、各受賞者の功績を称える様子が印象的でした。

式典後の祝賀会では、各受賞者は家族や友人らに囲まれ、晴れがましい笑顔で、なごやかなひと時を過ごしました。

また、村長から、最大の功労者として紹介された元財務部長の江口祐治氏（現造幣局総務部長）のメッセージも祝賀会の場で披露されました。



表彰状



跡地利用計画図（資料出所：読谷村）

開発建設部

平成20年度開発建設部所管優良業者等表彰式を開催

kaihatsukensetsu

7月16日沖縄総合事務局会議室において、「平成20年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。

本表彰は、平成20年度に完成したダム、道路、港湾、空港、公園及び官庁営

繕の各部門において、建設工事は1,000万円以上の契約件数295件の中から、測量・設計調査業務等については、500万円以上の契約件数289件の中から特に優秀な成績を収められた施工業者

及び技術者を表彰したものです。

竹澤局長は、挨拶の中で「厳しい経済社会情勢の中、それぞれの分野において、御熱心に仕事をしていただき、困難性の克服や創意工夫を行うことにより、優秀な成績を収めていただきました。その業績は他の模範となり、業界全体の技術力の向上に多大な貢献をされたものであり、その御努力に対して心から敬意を表します。」と述べて、表彰状を授与しました。



【受賞された皆様】

- ・優良施工工事部門 (7社)
- ・安全施工工事部門 (2社)
- ・優良業務部門 (5社)
- ・優秀工事技術者部門 (5名)
- ・優秀業務技術者部門 (2名)

運輸部

平成21年『海の月間』について

Unyubu

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。沖縄県も例外ではなく、琉球王国時代から海上交易を通して発展してきました。

「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。

この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、

全国各地において多彩な行事が展開されました。管内においても「那覇観光キャンペーンレディによる一日船長」、「みなとフェスタ」、「ビーチのクリーンアップキャンペーン」、「中学生海の絵画コンクール」等の行事が行われました。

「ニューくめしま」の一日船長を務めた那覇観光キャンペーンレディの野崎涼子さんは「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めていただき、明日を担うシーマンとし

て頑張ってください。」と、船員や関係者に向けてメッセージしました。

この他、「海事関係功労者表彰式」を23日、那覇市内のホテルで開催し、海運、港湾、優良船員、海洋環境保全関係者等23名を表彰しました。

また、同式典において「中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰式も行われ、沖縄総合事務局長表彰・金賞受賞の赤平有希菜さんをはじめ、10名の中学生が表彰されました。



野崎船長のメッセージ



新城船長&野崎船長



海事関係功労者表彰式

なかゆくい

Series 3

「新エネ百選」に選ばれました!!

経済産業部環境資源課



最近、みなさんの身の回りで大型の風車や太陽光パネルを見る機会が増えてきたと感じることはありませんか？

実は、私たちが住んでいるこの沖縄は新エネルギー利用の取り組みにおいて優良事例が数多く揃った先進地でもあるのです。

「新エネ百選」とは

経済産業省と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、2008年秋より、「地方公共団体、事業者等により実施された新エネルギー等導入事業」を公募し、全国各地における新エネルギー等利用の優れた取り組みを「新エネ百選」として選定し、本年4月22日に公表いたしました。

地域性を考慮した、全国の地産地消型新エネルギー等利用などの取組みの中で、特に優れたものを「新エネ百選」として選定していますが、これらの取り組みについては、広く情報発信を行うことで、地域における新エネルギー導入のベストプラクティスとして情報の共有を図り、今後、多くの地域への導入を促進するきっかけになればとの思いで創設しています。

今回、沖縄から「新エネ百選」に選定された5件は次のとおりですが、概

要について、それぞれ、ご紹介いたします。

「糸満市」

☆クリーンエネルギーのまち・糸満

平成11年以降、太陽光発電196kWや風力発電1800kWを先導的に導入し、平成18年度に水溶性天然ガスの利用を視野にいたれたものを含め、11のエネルギー施設からなる「次世代エネルギーパーク構想プラン」を策定しました。



糸満市庁舎

糸満市観光農園



| 地域名 | 事業主体 | 事業名 |
|------|-----------|----------------------------|
| 糸満市 | 糸満市 | クリーンエネルギーのまち・糸満 |
| うるま市 | うるま市 | 低炭素インキュベート・シティうるま |
| 宜野座村 | 社会福祉法人清明会 | 特別養護老人ホーム「でいご園」エネルギー施設整備事業 |
| 宮古島市 | 沖縄新エネ開発㈱ | 宮古島風力発電事業 |
| 与那国町 | 沖縄電力㈱ | 与那国風力ハイブリッドシステム |

「うるま市」

☆低炭素インキュベート・シティうるま

平成18年度にうるま市次世代エネルギーパーク構想を策定。バイオマスを中心に産学官民の連携を取った計画を進めています。これまでに太陽光発電、風力発電、廃棄物発電における新エネルギー等を導入いたしました。



美島環境クリーンセンター



(株)エコ・エナジー研究所

「社会福祉法人 清明会」(宜野座村)

☆特別養護老人ホーム「でいご園」

エネルギー施設整備事業

平成8年～18年度にかけて、特別養護老人ホームに99kWの太陽光発電設備を順次導入しました。また、平成17年度に太陽熱利用設備を導入し、温水中に利用しています。施設に関するパンフレットの作成や見学対応を通じて普及啓発を行っています。



特別養護老人ホーム「でいご園」



「沖縄新エネルギー開発株」(宮古島市)

☆宮古島風力発電事業

平成20年度に3600kW(90kW×4基)の風力発電設備が完成いたしました。宮古島の自然を生かした観光資源として期待されています。



狩俣風力発電所

サデフネ風力発電所



「沖縄電力株」(与那国町)

☆与那国風力ハイブリッド・システム

平成13年度に、1200kWの風力発電設備を導入しました。離島において有用な電源となっており、また環境行動レポートを毎年発表し、新エネルギー導入に関する普及啓発活動を行っています。

ています。



与那国風力ハイブリッドシステム



「新エネルギーシンポジウム・イン沖縄」
—「新エネ百選」選定記念—
開催

今回、沖縄総合事務局管内から地域の諸課題等を克服し全国の優秀事例として5件が「新エネ百選」に選定されたことを記念して、選定された地域の新エネルギーの利用等の先進的・積極的な取り組みを紹介し、新エネルギー導入のさらなる促進を図るため、平成21年6月16日に「新エネルギーシンポジウム・イン沖縄」を開催しました。

シンポジウムでは、「新エネ百選」の選定事業者を交えたパネルディスカッションを開催したほか、記念講演として、「沖縄大好き!」を自認する野中とも氏(元テレビキャスター、元三洋電機株代表取締役会長、現NPO法人ガイア・イニシアティブ代表)から「沖縄から始まる新エネ時代」と題し、ご講演いただき、また、基調講演として、今回の「新エネ百選」の選定委員でもある東京工業大学統合研究院の柏木孝夫教授からも「新エネルギーモデル国家日本の誕生」と題し、ご講演いただきました。



このように、みなさんの住んでいる沖縄県には、新エネ百選中、5件もの素晴らしい新エネルギー等導入事例があります。もちろん、そのほかにも優れた地域の取り組みがあり、低炭素社会の構築に向けた事業が進められています。みなさんも地域の「新エネルギー施設」を訪れ体感してみませんか?

「新エネルギーとは」

太陽光発電、風力発電、太陽熱利用、バイオマス発電等

内閣府だより

沖縄科学技術大学院大学学園法が成立

2009年7月



平成21年6月現在恩納キャンパス

沖縄科学技術大学院大学学園法が衆議院・参議院ともに全会一致で可決・成立、7月10日に公布され、同日に学園の設立準備に係る規定が施行されました。

この法律は、沖縄科学技術大学院大学を、学校法人が設置する大学とするとともに、国が沖縄振興の観点から補助を行うこと、世界の英知を集めるため優れた科学者を理事にする等、世界最高水準を実現するための様々な特例が定められています。



この法律の成立により、平成24年度の開学に向けた準備が本格化することになります。

現在、沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST）により、恩納キャンパスの建設、うるま市での先行的研究、そしてカリキュラムの作成等の大学の認可申請のための準備等が進められています。

● 沖縄の自立的発展と世界の科学技術の発展へ

世界最高水準の大学院大学ができることにより、沖縄の自立的発展に、次のような効

果が期待されます。

- ① 沖縄が多くの科学者の行き来する、科学技術の情報発信・交流拠点（「先端知識の万国津梁」の地）になる。
- ② 大学院大学を核として、他の研究機関、ベンチャー企業等の集積（知的クラスター）が形成される。
- ③ 高度な専門性を有する人材を育成するとともに、沖縄の若者や子どもに刺激を与える。
- ④ 文化面も含め、新キャンパスを中心とした国際色豊かな地域振興が期待される。



開学に向けて…

- ・平成21年度末に、恩納村のキャンパス建設地において、研究棟等の一部を供用開始。
- ・平成22年度に、連携大学院制度等を通じて恩納キャンパスに学生の受入れを開始。
- ・平成22年度末に、文部科学大臣に大学の認可申請を行う。
- ・平成24年度に、沖縄科学技術大学院大学が開学。

人事異動のお知らせ

沖縄総合事務局次長に

かわさき まさひこ

川崎 正彦が就任

(7月14日付)

高知県出身54歳



略歴／昭和55年建設省入省
平成21年国土交通省
大臣官房付を経て現職

趣味／SFの読書、食べ歩き
抱負／沖縄の振興に必要な社会基盤のあり方を、関係機関や職員の皆さん及び地域の方々と考え、議論し、一緒になって整備を進めていきたい。また、沖縄の食べ物、文化、自然環境等を堪能したいと思っています。

沖縄総合事務局次長に

くろば りょうすけ

黒羽 亮輔が就任

(7月14日付)

福島県出身54歳



略歴／昭和55年総理府入府
平成18年内閣府賞勲
局総務課長を経て現職

趣味／飲んで食べること
ぐらい(グルメではありません)

抱負／15年ぶりの事務局勤務です。街の景色は様変わりしましたが、素晴らしい自然と人々の優しい心は以前のままでした。皆さんとともに、この宝物を大切に守りながら、新しい夢や希望につなげていきたいと思っています。少懐多笑、楽しく仕事しましょう。

沖縄総合事務局次長に

たけざわ まさあき

竹澤 正明が就任

(7月14日付)

富山県出身55歳



略歴／昭和54年総理府入府
平成20年総務省大臣
官房政策評価審議官
を経て現職

趣味／天体観測、野山散策

抱負／沖縄の特に若い人が将来に対して元気の出る沖縄づくりを目指したい。

○沖縄総合事務局○

内閣府審議官に

ふくした ゆうじ

福下 雄二が就任

(7月7日付)

東京都出身58歳



略歴／昭和51年総理府入府
平成19年内閣府賞勲
局長を経て現職

趣味／ゴルフ、カラオケ(沖縄の唄は芭蕉布、十九の春、美しの琉球)、読書(歴史書)

抱負／学生時代に復帰直後の沖縄を1人で訪れ、南部戦跡を巡って沖縄の苦難の歴史を学んだことが、沖縄と私の関わりの原点。この原体験を基に、沖縄の平和と発展に尽くしたい。

○内閣府本府沖縄担当部局○

運輸部長に

かつやま きよし

勝山 潔が就任

(7月24日付)

東京都出身42歳



略歴／平成2年運輸省入省
平成20年国土交通省
鉄道局総務課危機
管理室長を経て現職

趣味／バスケットボールなどスポーツをすること

抱負／運輸の安全確保・危機管理に全力を尽くすとともに、実体験を通して沖縄観光の魅力のよき発信者となる。

開発建設部長に

うらべ しんいち

浦辺 信一が就任

(7月24日付)

東京都出身51歳



略歴／昭和57年北海道開発庁
入庁
平成20年内閣官房
地域活性化統合事
務局参事官を経て現職

趣味／庭いじり、散歩

抱負／交流拡大による沖縄振興に尽力したい。

経済産業部長に

やまうち とおる

山内 徹が就任

(7月14日付)

奈良県出身48歳



略歴／昭和60年通商産業省
入省
平成19年内閣官房
内閣参事官(情報通
信技術(IT)担当室)
を経て現職

趣味／将棋、音楽、
映画鑑賞

抱負／様々な施策を有機的に連係させて、沖縄の経済発展につなげたい。

農林水産部長に

たかやなぎ みつひろ

高柳 充宏が就任

(7月14日付)

愛知県出身51歳



略歴／昭和57年農林水産省
入省
平成20年農林水産省
農村振興局総務課
長を経て現職

趣味／読書、散歩、
妻とのゴルフ

抱負／沖縄の特性を活かして、農林水産業の振興と地域振興に努めてまいりたい。

財務部長に

かね こ ひでよし

金子 秀喜が就任

(7月1日付)

千葉県出身55歳



略歴／昭和52年大蔵省入省
平成19年財務省関東
財務局千葉財務事務
所長を経て現職

趣味／ゴルフ、囲碁、ウォーキング

抱負／人口が増加し、交流人口も多い沖縄は全国有数の魅力的な地域。微力ながら、振興発展に尽力していきたい。



首里城祭

甦る、琉球王朝の栄華

2009 Shurijo Castle Festival
10/30[金] ▶ 11/3[火]

- ❖ 伝統芸能の宴
Traditional performing art
10月30日[金]・31日[土]・11月1日[日]
Oct.30~Nov.1
[下之御庭] ※無料区域 Free zone
- ❖ 冊封使行列・冊封儀式
The coronation ceremony
10月31日[土] Oct.31 11:50~13:10
[守礼門前~御庭] ※御庭は有料区域 Paid zone and Free zone
- ❖ 琉球王朝絵巻行列
Royal procession
11月1日[日] Nov.1 12:30~14:30
[那覇市国際通り] Kokusai street, Naha city
- ❖ 琉球王朝祭り首里「古式行列」
Traditional procession
11月3日[火] Nov.3 12:50~15:30
[御庭~龍潭通り~鳥堀交差点] Paid zone and around Shurijo-Castle Park

<http://oki-park.jp/shurijo-park/>
<http://oki-park.jp/shurijo-park/k/>



主催 首里城祭実行委員会 事務局 那覇市おもろまち2丁目1番1号 TEL.098-866-0031 共催 琉球新報社・首里協賛会

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。